2021年10月13日（水）

第61期（2022年３月期）
第2四半期決算説明会

（2021年４月１日～2021年9月30日）

代表取締役社長　最高経営責任者（CEO）　保木　潤一
取締役　管理本部長　川久保　秀樹

HOGY

将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

HOGY

業績の概要

HOGY

第61期（2022年３月期）第２四半期損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	20.9 60期2Q実績		21.9 61期2Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	17,734		17,928		193	101.1%
営業利益	2,671	15.1%	2,987	16.7%	316	111.8%
経常利益	2,806	15.8%	3,067	17.1%	261	109.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,776	15.7%	2,234	12.5%	△541	80.5%
EPS	91.84円		75.83円			

HOGY

■増収減益

売上高　：＋193百万円（1.1%増）

：第1四半期ではコロナによる手術件数減の反動増により増収
：第2四半期では感染拡大の影響を強く受ける
：プレミアム、ブリスターキットの販売は好調
：感染防護製品の反動減

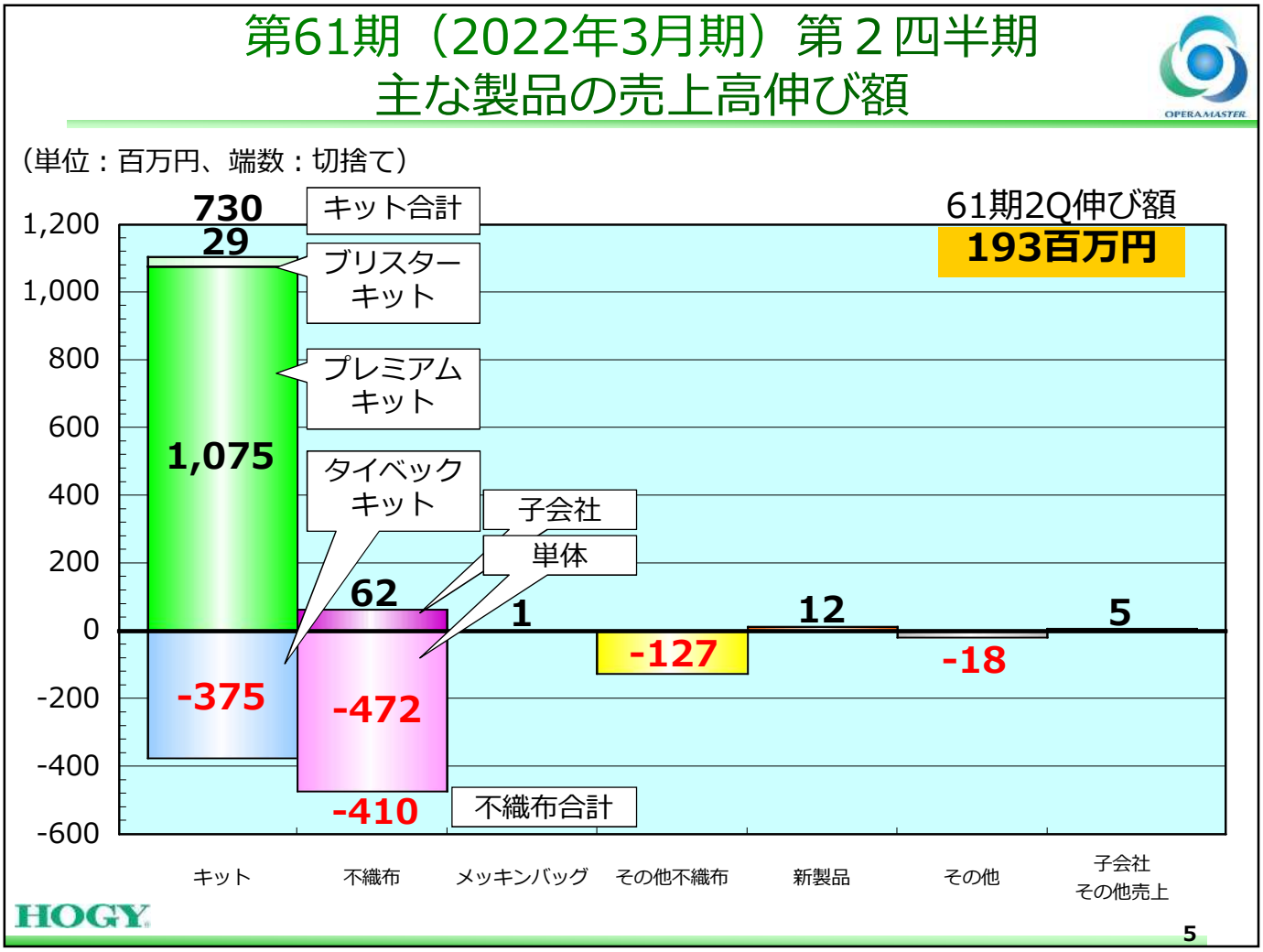
営業利益　：＋316百万円（11.8%増）

原価　－57.7%(前年比△0.8pt)
－償却費の減少
販売管理費　－ △92百万円（2.0%減）
－人件費、償却費等の減少

経常利益　：＋261百万円（9.3%増）

当期純利益　：△541百万円（19.5%減）

特別利益：前年度に一部株式売却益（1,028百万円）を計上したことによる反動減



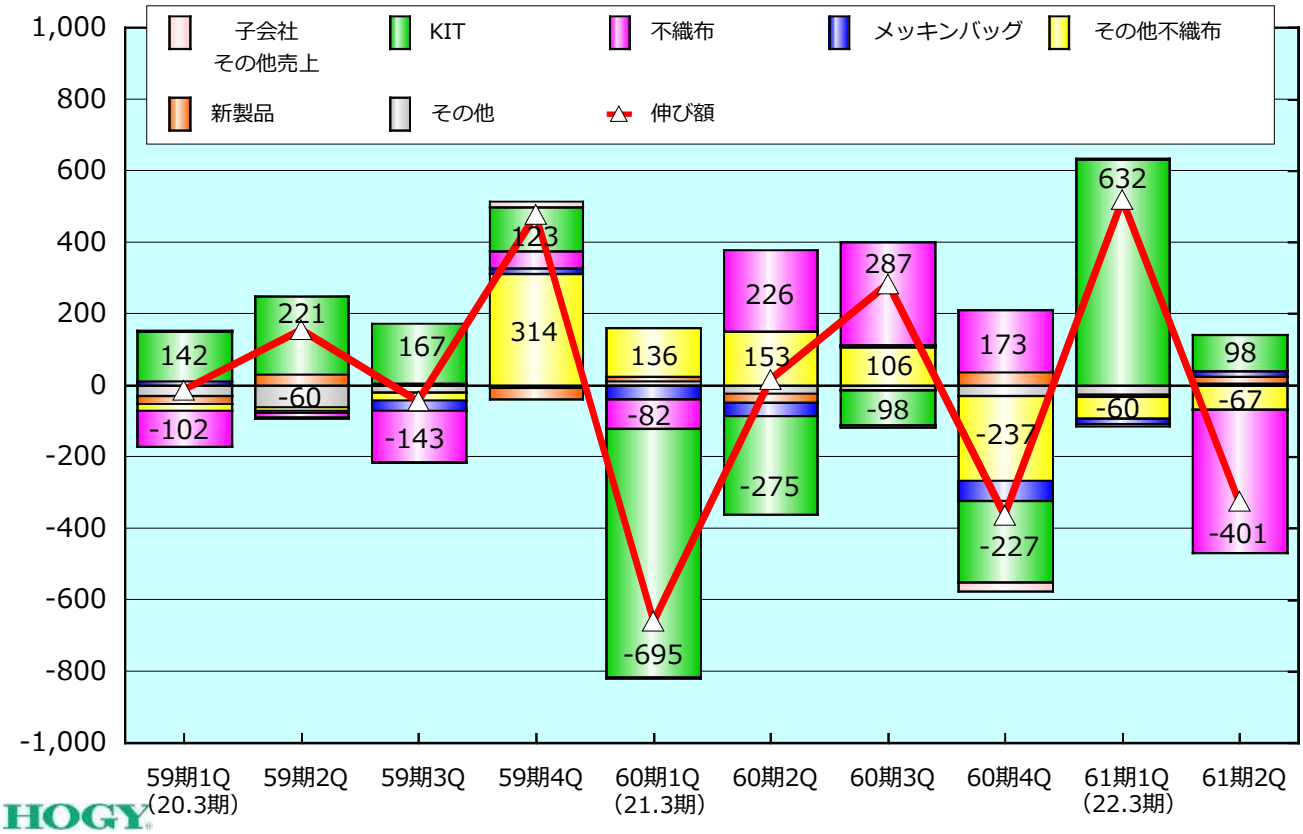
・**プレミアムキットへ販売を注力した結果、前年比43.0%増加**

・タイベックキットを中心に新型コロナの影響を受ける

・不織布（ガウンとプリコーションセットを中心とした感染防止関連製品）とその他不織布（マスク）は特需の反動減

第61期（2022年3月期）第２四半期
四半期別売上高伸び額の内訳

（単位：百万円、端数：切捨て）



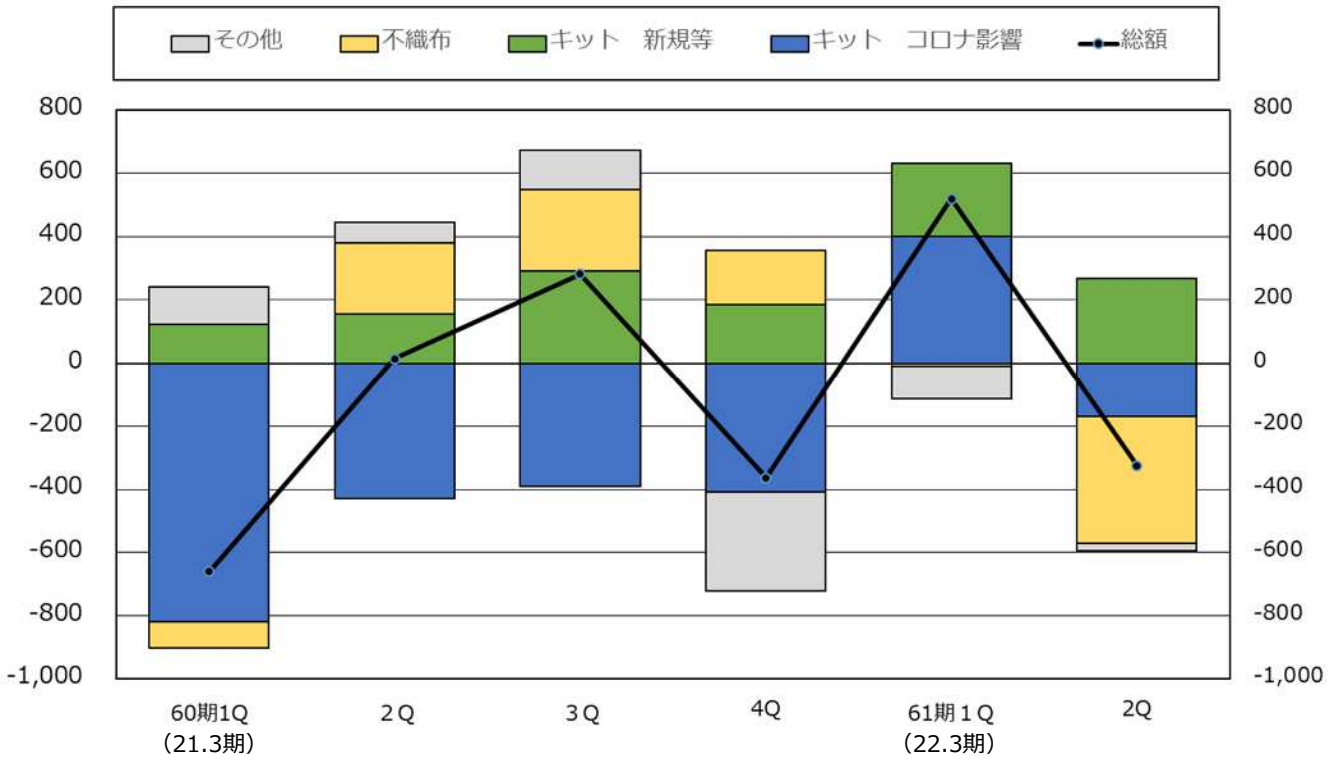
HOGY

・コロナ影響から改善が見られた第1四半期に比べ、第2四半期ではコロナ影響が拡大

・不織布では前年度第2四半期よりプリコーションセットの販売を開始した反動減

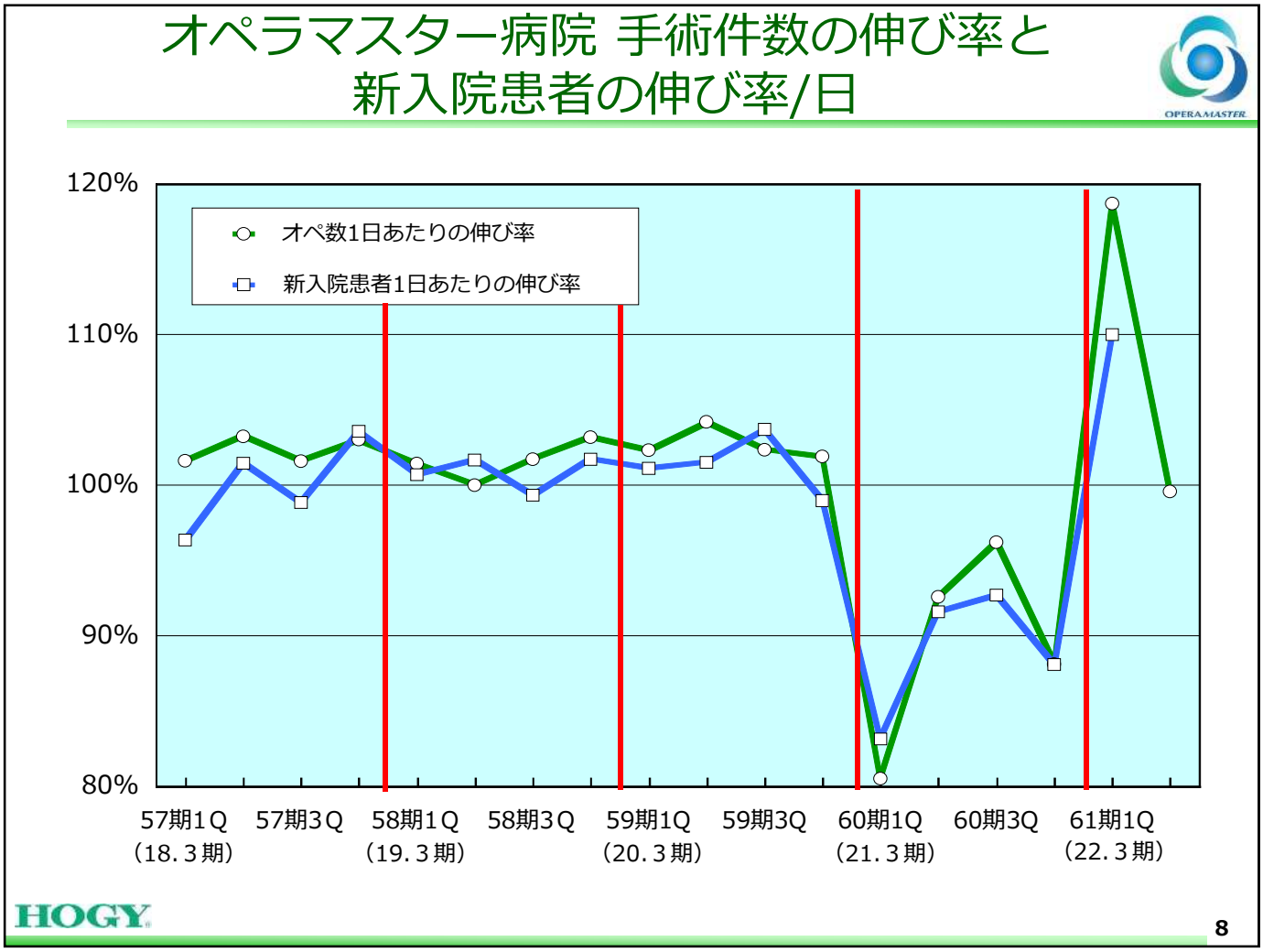
四半期別　伸び額の内訳

（単位：百万円、端数：切捨て）



（単位：百万円、端数：切捨て）

	60期1Q	2Q	3Q	4Q	61期1Q	2Q
キット　コロナ影響	-820	-430	-390	-410	400	-170
キット　新規等	124	154	292	184	232	269
キット　合計	-696	-276	-98	-227	632	99
不織布	-82	226	287	173	-9	-401
その他	117	65	93	-311	-104	-23
総額	-661	15	282	-365	519	-325



・医療機関によって手術件数の回復傾向に差があり２極化が進む

第61期（2022年３月期）第２四半期　ポイント

■市場環境

- ✓ **新型コロナ感染拡大により、4月大都市中心に緊急事態宣言、5月解除、7月全国各地で当該宣言と、状況が大きく変動**
- ✓ **医療従事者の離職率の増加**
- ✓ 医療従事者の働き方改革に対する議論の再燃
- ✓ コロナ禍において手術件数を増加させ経営改善に取組む医療機関との2極化が進む
- ✓ 医療機関での**機能分化が促進**

■決算のポイント

- ✓ 新型コロナにより手術件数の増減が起こり、第1四半期では改善傾向にあったが、第2四半期において前年を下回る状況となった
- ✓ プレミアムキットの売上高増加（前年比43.0%増）
- ✓ 第2四半期より不織布製品（ガウン・プリコーションセット）の特需反動減
- ✓ 営業活動は一部制限が継続
- ✓ プレミアムキット販売への資源の集中化
- ✓ 計画的な費用の使用

第61期（2022年３月期）経営計画

HOGY

第61期（2022年3月期）損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	21.3 60期実績		22.3 61期修正計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,504		36,570		65	100.2%
営業利益	5,632	15.4%	5,790	15.8%	157	102.8%
経常利益	5,988	16.4%	6,050	16.5%	61	101.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,959	13.6%	4,300	11.8%	△659	86.7%
EPS	164.03円		148.43円			

HOGY

11

■増収減益計画

■想定事業環境について

- ✓ ワクチン接種、変異株の感染拡大と感染状況を大きく変動する要因が多分に含まれており、通期は前年と同程度の影響が残るものと考える
- ✓ 医療機関の対応は2極化が進む

■医療機関では新型コロナにより増加した業務が定着

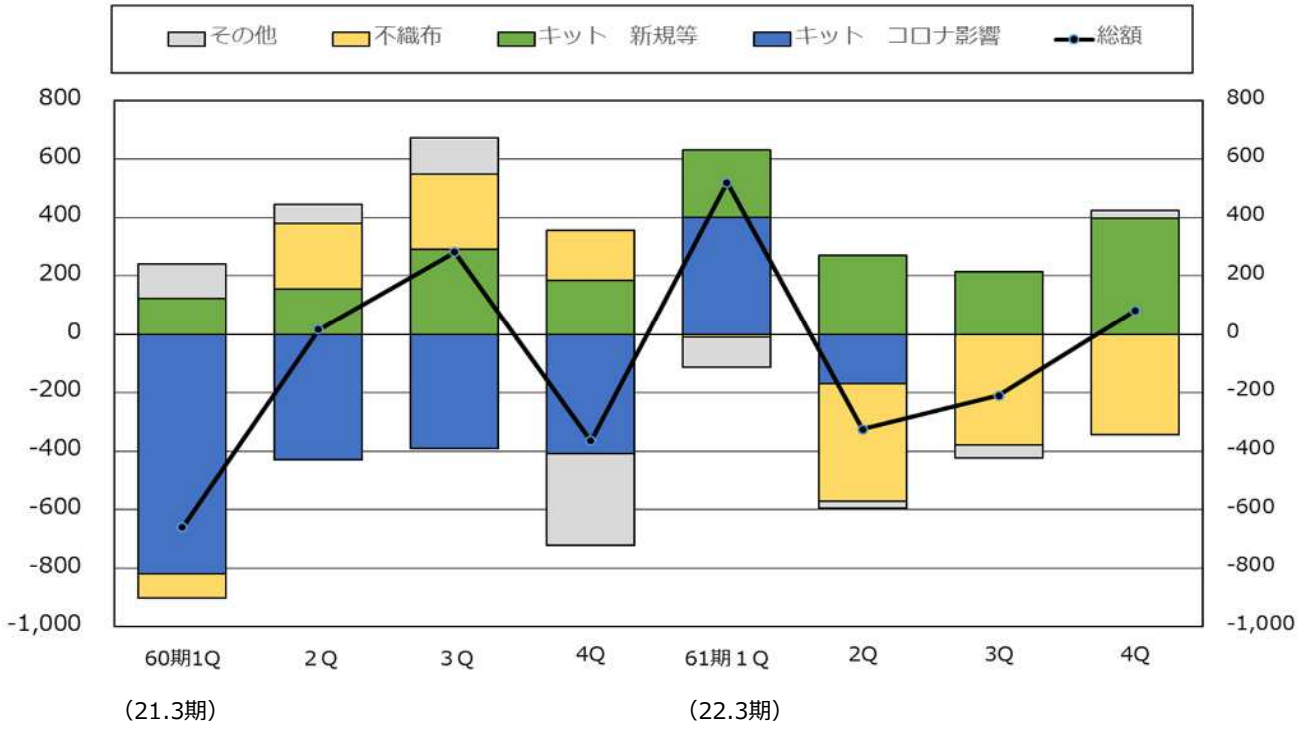
■医療従事者の離職率が増加

■修正の主なポイント

- ✓ 販売計画の見直しと、それに伴う費用の見直し

第61期（2022年３月期）販売計画

（単位：百万円、端数：切捨て）



HOGY

12

■ 下期キット製品への新型コロナの影響は前年並みとみる

■ キット新規計画についてはプレミアムキットでの採用を予定

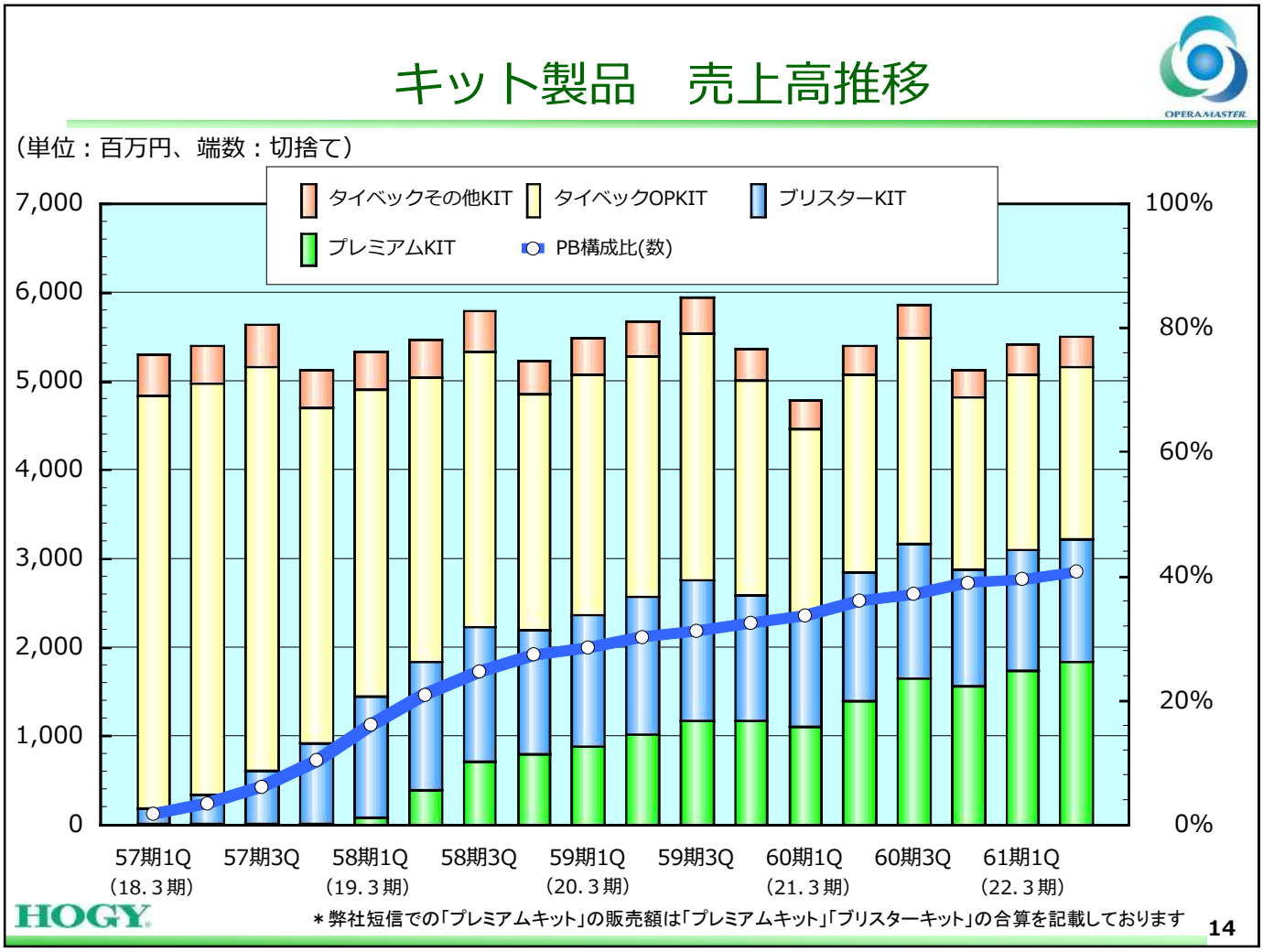
■ 不織布製品は特需製品（ガウン・プリコーションセット）の反動減を見込む

（単位：百万円、端数：切捨て）

	60期1Q	2Q	3Q	4Q	61期1Q	2Q	3Q	4Q
キット　コロナ影響	-820	-430	-390	-410	400	-170	0	0
キット　新規等	124	154	292	184	232	269	215	396
KIT合計	-696	-276	-98	-227	632	99	215	396
不織布	-82	226	287	173	-9	-401	-379	-343
その他	117	65	93	-311	-104	-23	-46	28
総額	-661	15	282	-365	519	-325	-210	81

実績の詳細

HOGY



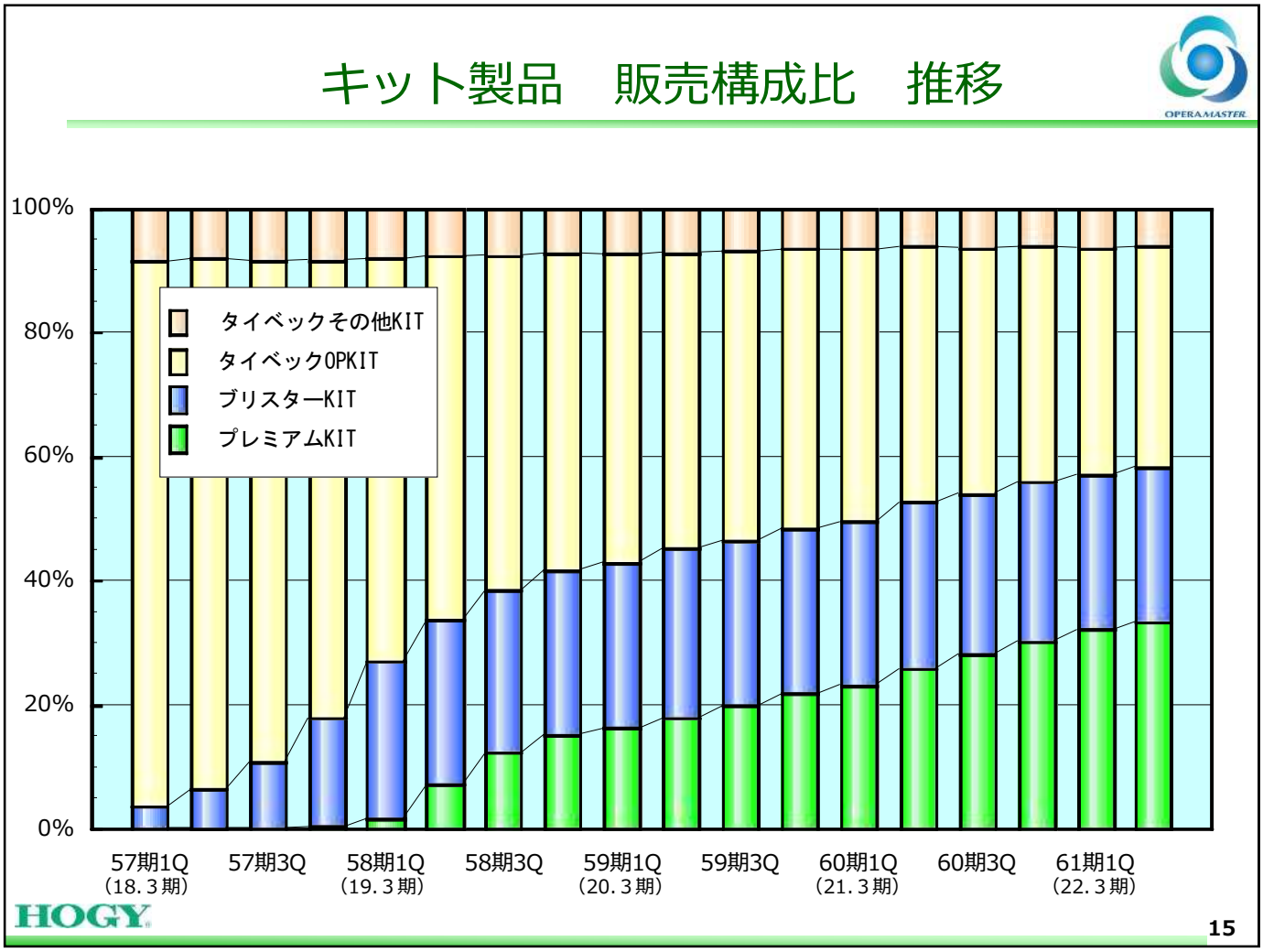
・新型コロナの影響でタイベックキットを中心に販売量が減少

・緊急性の高い手術ほど件数の減少が少ない傾向

・プレミアムキットの販売に注力した結果、プレミアムキットとブリスターキット合計の数量構成比は4割を超過

・61期第2四半期　前年同期比

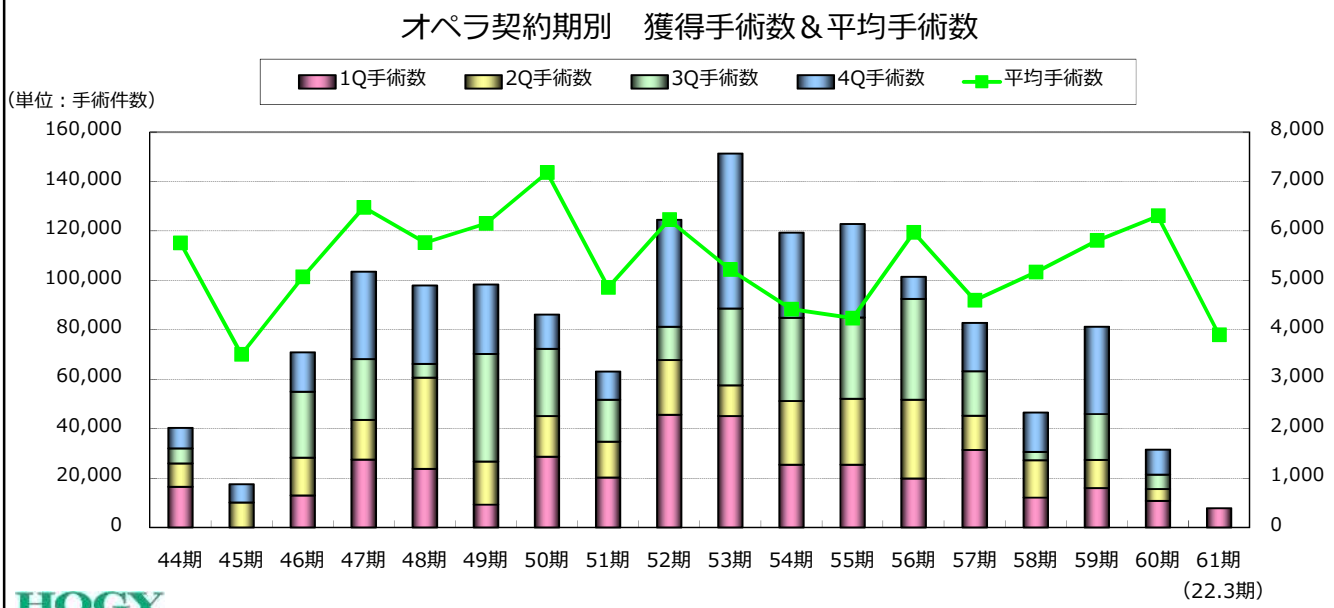
- ✓ プレミアム、ブリスター：＋377百万円、113.3%
- ✓ タイベックキット　　：△278百万円、　89.2%



・プレミアムキットの販売に注力した結果売上高が伸長し、販売構成比は3割を超過

オペラマスター契約病院の手術数推移

売上高　　：7,300百万円（前年比　552百万円：　108.2%）
61期契約施設数　：新規2施設 、解約3施設
累計契約施設数　：270施設



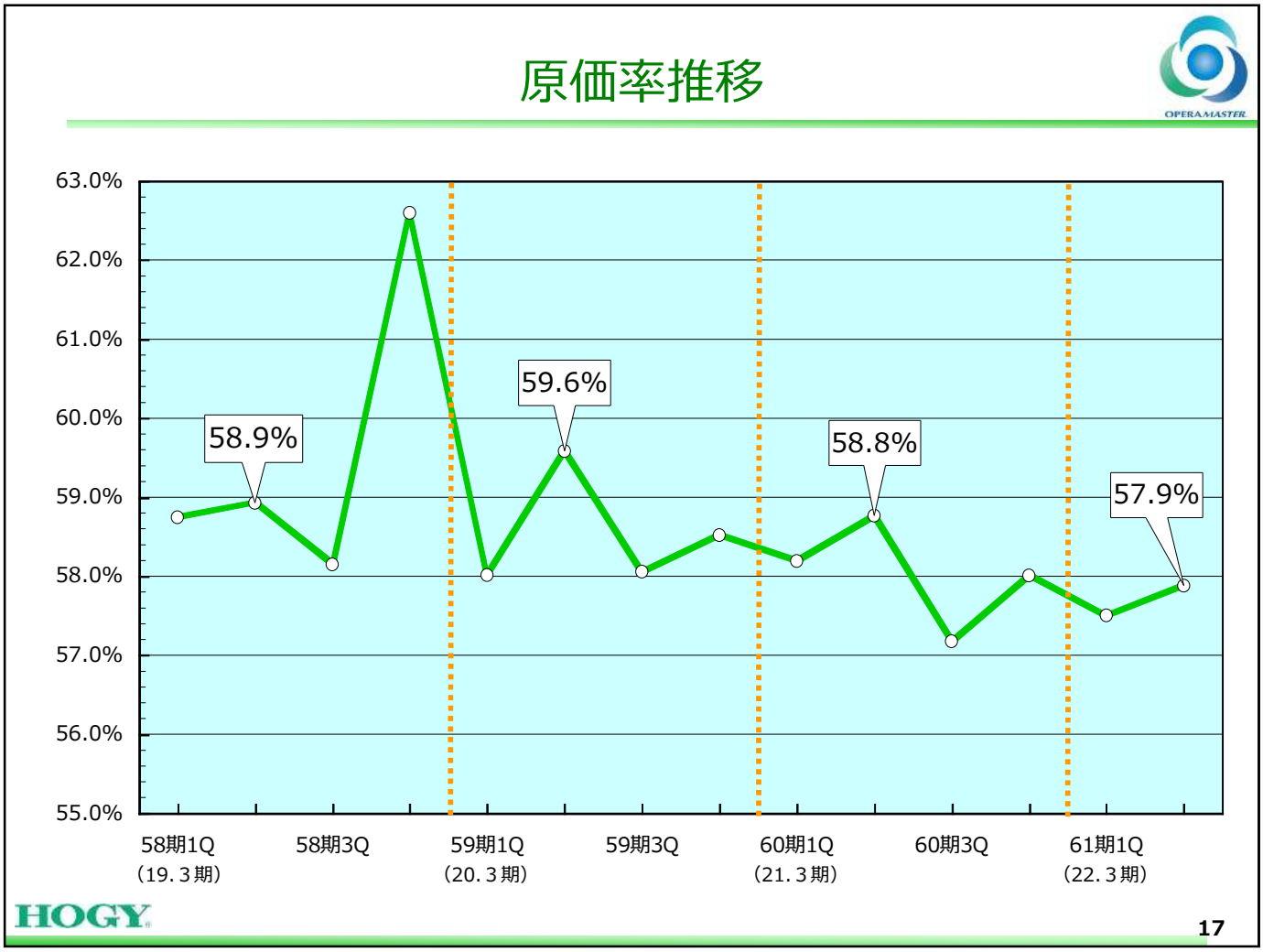
HOGY

16

・61期新規契約病院2件（Ⅲ群2件）

・61期新規契約病院の1病院当たり平均手術数は3,900件

・オペラマスター契約は患者が集中する大病院に注力



・新工場償却費の減少

償却合計：1,029百万円（前年比：100百万円減)

・原価　：825百万円（前年比：　80百万円減）

・販管費　：203百万円（前年比：　20百万円減）

第61期（2022年３月期）第２四半期損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	20.9 60期2Q実績		21.9 61期2Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	17,734		17,928		193	101.1%
売上原価	10,374	58.5%	10,344	57.7%	△30	99.7%
売上総利益	7,360	41.5%	7,583	42.3%	223	103.0%
販売費及び一般管理費	4,689	26.4%	4,596	25.6%	△92	98.0%
営業利益	2,671	15.1%	2,987	16.7%	316	111.8%
営業外損益	134		79		△55	
経常利益	2,806	15.8%	3,067	17.1%	261	109.3%
特別損益	1,027		△1		△1,028	
親会社株主に帰属する当期純利益	2,776	15.7%	2,234	12.5%	△541	80.5%
EPS	91.84円		75.83円			

主な増減科目	前年比
人件費	△47
旅費交通費	24
減価償却費	△33

HOGY

18

・販売管理費：4,596百万円(△92百万円)

✓ 人件費：賞与等による影響

✓ 旅費交通費：前期営業活動自粛の反動増

・設備投資：2,196百万円(内新工場追加：1,601百万円)

第61期（2022年３月期）経営計画

HOGY

第61期（2022年３月期）損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	21.3 60期実績		22.3 61期修正計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,504		36,570		65	100.2%
売上原価	21,177	58.0%	21,300	58.2%	122	100.6%
売上総利益	15,326	42.0%	15,270	41.8%	△56	99.6%
販売費及び一般管理費	9,694	26.6%	9,480	25.9%	△214	97.8%
営業利益	5,632	15.4%	5,790	15.8%	157	102.8%
営業外損益	355		260		△95	
経常利益	5,988	16.4%	6,050	16.5%	61	101.0%
特別損益	1,001		△10		△1,011	
親会社株主に帰属する当期純利益	4,959	13.6%	4,300	11.8%	△659	86.7%
EPS	164.03円		148.43円			

HOGY

20

■売上高

- ✓ 新型コロナの影響は状況が常に変動しているため、KIT製品の反動増は見込まない
- ✓ 医療機関での**人員不足が加速**しており、「**安定供給**」と手術準備の「**効率化**」と「**安全性向上**」に貢献できるプレミアムキットの提案を強化
- ✓ キット製品の新規計画は期初計画から大きく変更なし
- ✓ 特需が起きた製品の反動減を見込む

■原価

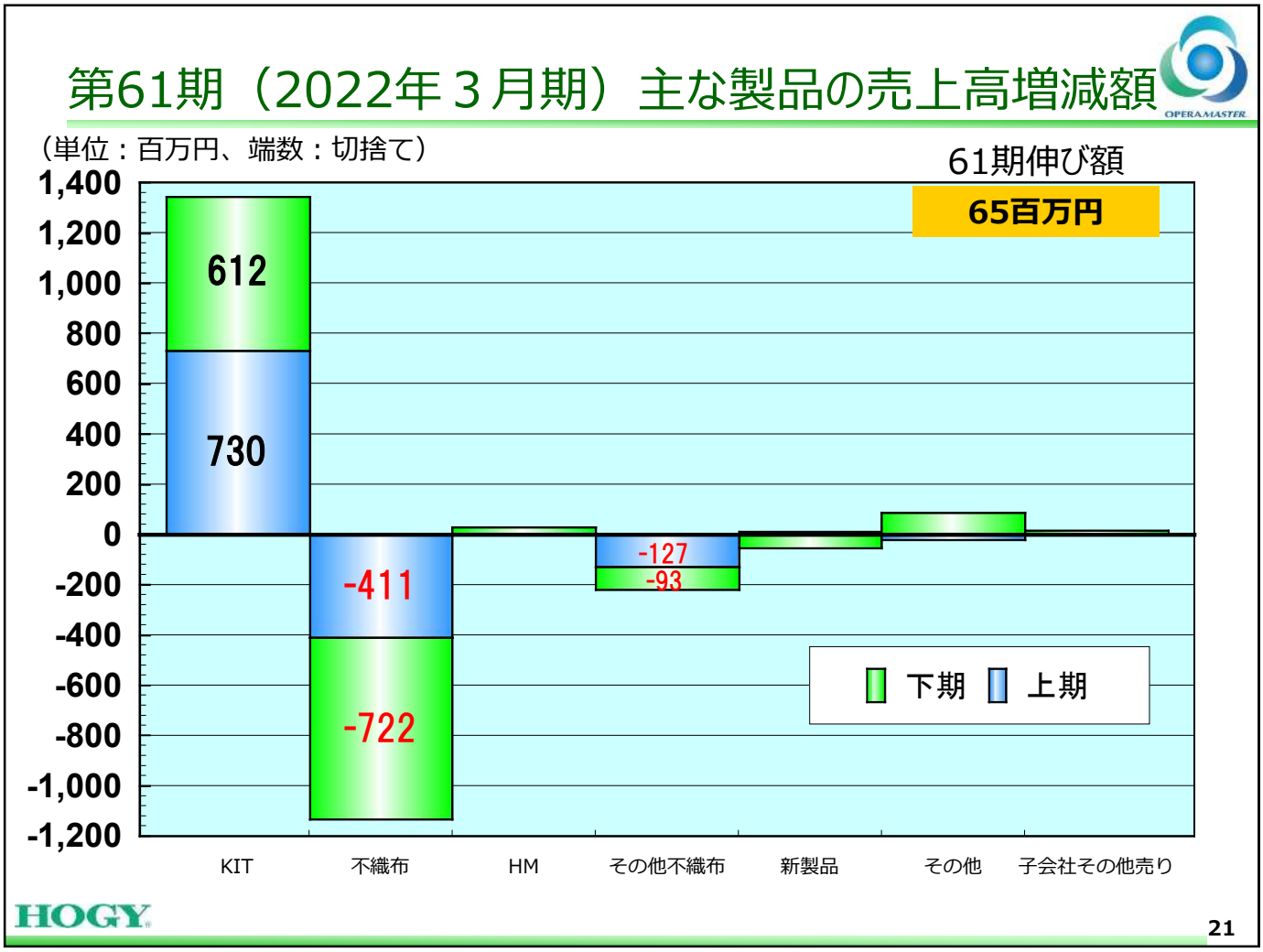
- ✓ 償却費の減少（新工場2期設備の一部稼働開始）
- ✓ 円安の影響による原価の増加
- ✓ インドネシアでの需要に合わせた生産体制の確立

■販売管理費

- ✓ 活動状況に合わせた経費の使用

■特別利益

- ✓ 前年度は株式売却益を計上

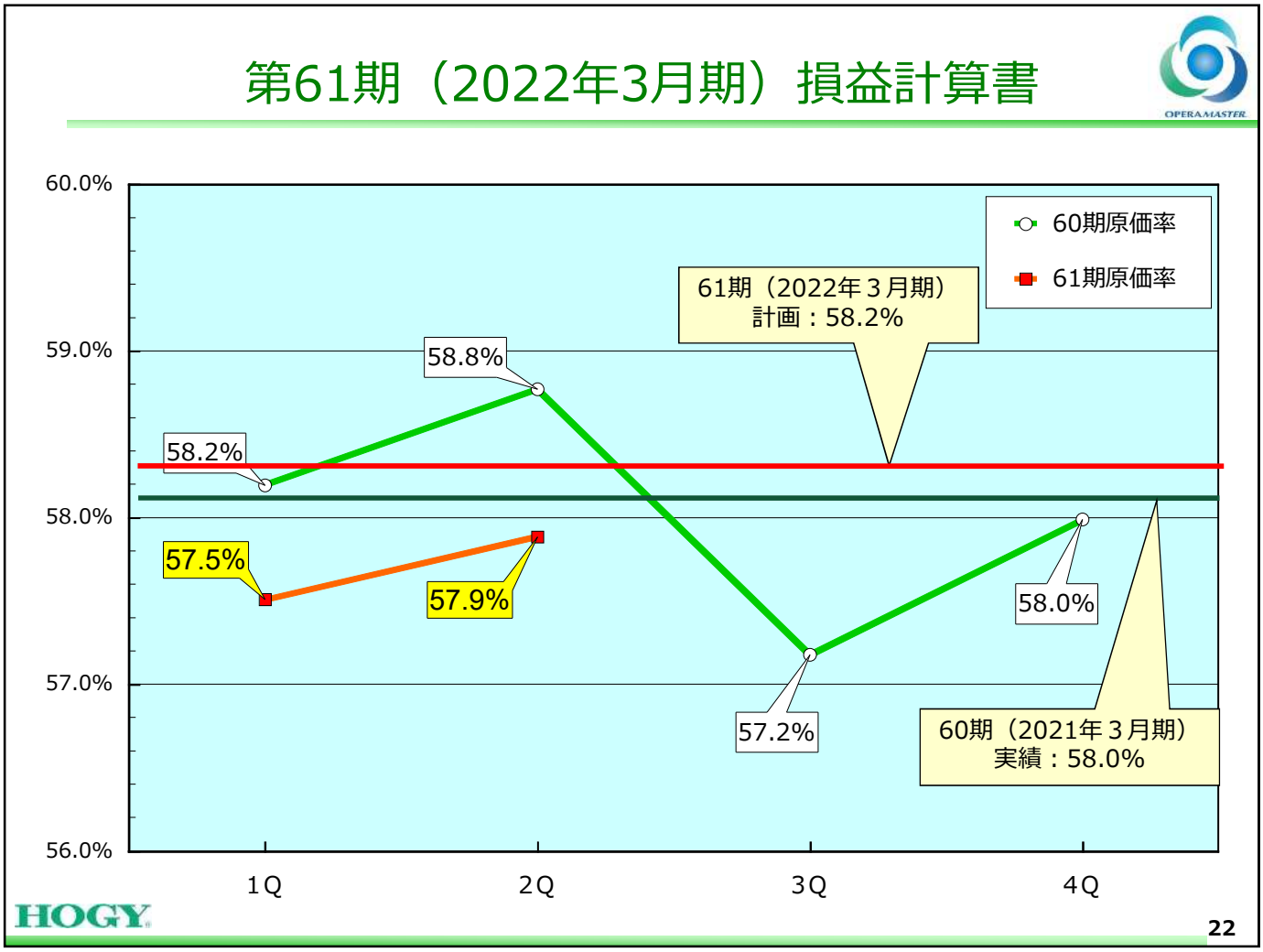


■キット製品：新規（プレミアムキット）契約による増加

■不織布製品：ガウン、プリコーションセット特需の反動減

■その他不織布：マスクの特需の反動減

■感染防止関連製品市場はコロナ禍前の状態に戻り、競争激化



・新工場償却費の減少

償却合計：4,460百万円　　（前年比：89百万円減）

・原価　　：　3,600百万円（前年比：43百万円減）

・販管費　：　　860百万円（前年比：46百万円減）

・新工場第2期　一部設備の取得を開始

・生産量増加による原価率の改善

・コーポレートレート115円

第61期（2022年3月期）損益計算書

単位：百万円 端数：切捨て	21.3 60期実績		22.3 61期修正計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	36,504		36,570		65	100.2%
売上原価	21,177	58.0%	21,300	58.2%	122	100.6%
売上総利益	15,326	42.0%	15,270	41.8%	△56	99.6%
販売費及び一般管理費	9,694	26.6%	9,480	25.9%	△214	97.8%
営業利益	5,632	15.4%	5,790	15.8%	157	102.8%
営業外損益	355		260		△95	
経常利益	5,988	16.4%	6,050	16.5%	61	101.0%
特別損益	1,001		△10		△1,011	
親会社株主に帰属する当期純利益	4,959	13.6%	4,300	11.8%	△659	86.7%
EPS	164.03円		148.43円			

主な増減科目	前年比
旅費交通費	61
人件費	16
試験研究費	△165
減価償却費	△46

一部株式売却益
2021年３月期：1,028百万円

HOGY

23

・販売管理費：9,480百万円(△214百万円)
- ✓ 人件費　　：定期昇給、人員増
- ✓ 旅費交通費・見本費：新型コロナによる反動
- ✓ 減価償却費：システム償却の減少

・特別利益：前年度、有価証券株式の売却利益計上

・設備投資：3,700百万円(内新工場追加：1,800百万円)

2021年10月13日（水）

第61期（2022年３月期）
第2四半期決算説明会

（2021年４月１日～2021年9月30日）

代表取締役社長	最高経営責任者（CEO）	保木　潤一
取締役	管理本部長	川久保　秀樹

HOGY